

ID: 206

担当部署: 建設課

処分の概要	使用料の徴収		
例 規 名 根 拠 条 項	美里町地域下水処理場使用条例 第10条		
例 規 番 号	平成18年 条例第141号		
<p>【根拠条文】</p> <p>(使用料)</p> <p>第10条 町は、処理区域内における地域下水処理場の使用について、使用者から使用料を徴収する。使用料の額は、毎使用月において使用者が排除した汚水の量に応じ、別表に定める基本使用料と従量使用料の合計額(10円未満の端数は切り捨てる。)とする。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p>			
備考			
設 定 年 月 日	平成25年 6月 7日	最終変更年月日	年 月 日

ID: 207

担当部署: 建設課

処分の概要	過料		
例 規 名 根 拠 条 項	美里町地域下水処理場使用条例 第16条及び第17条		
例 規 番 号	平成18年 条例第141号		
<p>【根拠条文】</p> <p>(罰則)</p> <p>第16条 次に掲げる者は、5万円以下の過料に処する。</p> <p>(1) 第5条第1項又は第2項の規定による確認を受けずに排水設備等の工事を実施した者</p> <p>(2) 排水設備等の新設を行って第6条の規定による届出を期間内に行わなかった者</p> <p>(3) 第8条の規定による届出を怠った者</p> <p>(4) 第9条の規定に違反した使用者</p> <p>(5) 第5条第1項の規定による申請書又は書類、第5条第2項又は第8条の規定による資料で不実の記載のあるものを提出した申請書、届出書、申告書又は資料の提出者</p> <p>第17条 詐欺その他の不正の行為により使用料又はその他の徴収を免れた者は、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額(当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。)以下の過料に処する。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p>			
備考			
設 定 年 月 日	平成25年 6月 7日	最終変更年月日	年 月 日

ID: 270

担当部署: 建設課

処分の概要	分担金の徴収		
例 規 名 根 拠 条 項	美里町急傾斜地崩壊対策事業分担金徴収条例 第2条		
例 規 番 号	平成18年 条例第159号		
<p>【根拠条文】</p> <p>(分担金の徴収)</p> <p>第2条 町は、地方財政法(昭和23年法律第109号)第27条の規定に基づき、急傾斜地崩壊対策事業に要する費用の一部を負担するときは、当該事業によって利益を受ける者(以下「受益者」という。)から分担金を徴収する。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文及び第3条の規定による。</p> <p>(分担金の額)</p> <p>第3条 前条の規定により町が受益者から徴収する分担金の額は、各年度ごとに町が負担する額を超えない範囲内において、当該事業により利益を受ける割合を基準として、町長が定める額とする。</p>			
備考			
設 定 年 月 日	平成25年 6月 7日	最終変更年月日	年 月 日

ID: 272

担当部署: 建設課

処分の概要	過料		
例 規 名 根 拠 条 項	美里町急傾斜地崩壊対策事業分担金徴収条例 第8条		
例 規 番 号	平成18年 条例第159号		
<p>【根拠条文】</p> <p>(罰則)</p> <p>第8条 詐欺その他不正の行為により、分担金の徴収を免れた者は、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額(当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。)以下の過料に処する。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p>			
備考			
設 定 年 月 日	平成25年 6月 7日	最終変更年月日	年 月 日

ID: 274

担当部署: 建設課

処分の概要	許可の取消し		
例 規 名 根 拠 条 項	美里町地区計画区域内における建築物の制限に関する条例施行規則 第6条		
例 規 番 号	平成18年 規則第96号		
<p>【根拠条文】</p> <p>(許可の取消し)</p> <p>第6条 町長は、建築許可が虚偽の申請その他不正な行為によって受けたものであるときには、その許可を取り消すことができる。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p>			
備考			
設 定 年 月 日	平成25年 6月 7日	最終変更年月日	年 月 日

ID: 277

担当部署: 建設課

処分の概要	使用料の徴収		
例 規 名 根 拠 条 項	美里町公園条例 第9条第1項（第16条において準用する場合を含む。）		
例 規 番 号	平成18年 条例第164号		
<p>【根拠条文】</p> <p>(使用料)</p> <p>第9条 法第5条第2項、法第6条第1項、同条第3項、第3条第1項若しくは同条第3項の許可を受けた者又は有料公園施設を使用しようとする者は、別に定める額の使用料を納付しなければならない。</p> <p>2 有料公園施設を使用する者が入場料その他これに類する料金を徴収する場合における使用料の額は、別に定める額とする。</p> <p>3 前項の規定にかかわらず、使用を許可された期間が1月未満に係る使用料の額は、別に定める金額に100分の105を乗じて得た額を納付しなければならない。ただし、その額に10円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てるものとする。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文及び第13条の規定による。</p> <p>(使用料の額)</p> <p>第13条 第9条第1項及び第2項の規定に基づく使用料は、別表第3のとおりとする。</p>			
備考			
設 定 年 月 日	平成25年 6月 7日	最終変更年月日	年 月 日

ID: 278

担当部署: 建設課

処分の概要	監督処分		
例 規 名 根 拠 条 項	美里町公園条例 第10条（第16条において準用する場合を含む。）		
例 規 番 号	平成18年 条例第164号		
<p>【根拠条文】</p> <p>(監督処分)</p> <p>第10条 町長は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、この条例の規定によってした許可を取り消し、その効力を停止し、若しくはその条件を変更し、又は行為の中止、原状回復若しくは公園からの退去を命ずることができる。</p> <p>(1) この条例又はこの条例の規定に基づく処分に違反している者</p> <p>(2) この条例の規定による許可に付した条件に違反している者</p> <p>(3) 偽りその他不正な手段により、この条例の規定による許可を受けた者</p> <p>2 町長は、次の各号のいずれかに該当する場合においては、この条例の規定による許可を受けた者に対し、前項に規定する処分をし、又は同項に規定する必要な措置を命ずることができる。</p> <p>(1) 公園に関する工事のため、やむを得ない必要が生じた場合</p> <p>(2) 公園の保全又は公衆の都市公園の使用に著しい支障が生じた場合</p> <p>(3) 公園管理上の理由以外の理由に基づく、公益上やむを得ない必要が生じた場合</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p>			
備考			
設 定 年 月 日	平成25年 6月 7日	最終変更年月日	年 月 日

ID: 280

担当部署: 建設課

処分の概要	過料		
例 規 名 根 拠 条 項	美里町公園条例 第18条から第20条まで		
例 規 番 号	平成18年 条例第164号		
<p>【根拠条文】</p> <p>(過料)</p> <p>第18条 次の各号のいずれかに該当する者に対しては、1万円以下の過料に処する。</p> <p>(1) 第3条第1項又は第3項(第17条において、これらの規定を準用する場合を含む。)の規定に違反して、同条第1項各号に掲げる行為をした者</p> <p>(2) 第5条(第17条において準用する場合を含む。)の規定に違反して同条各号に掲げる行為をした者</p> <p>(3) 第10条第1項又は第2項(第17条において、これらの規定を準用する場合を含む。)の規定による町長の命令に違反した者</p> <p>第19条 詐欺その他不正な手段により、使用料の徴収を免れた者に対しては、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額(当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。)以下の過料に処する。</p> <p>第20条 法人の代表者又は法人若しくは人の代理人、使用人その他の従業者がその法人又は人の業務に関し、前2条の違反行為をしたときは、行為者を罰するのほか、その法人又は人に対しても各本条に規定する過料に処する。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p>			
備考			
設 定 年 月 日	平成25年 6月 7日	最終変更年月日	年 月 日

ID: 283

担当部署: 建設課

処分の概要	改善命令		
例 規 名 根 拠 条 項	美里町下水道条例 第8条		
例 規 番 号	平成18年 条例第165号		
<p>【根拠条文】</p> <p>(改善命令)</p> <p>第8条 町長は、公共下水道の管理上必要があると認めるときは、排水設備又は除害施設の構造又は使用の方法の変更を命ずることができる。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p>			
備考			
設 定 年 月 日	平成25年 6月 7日	最終変更年月日	年 月 日

ID: 284

担当部署: 建設課

処分の概要	排除の停止等		
例 規 名 根 拠 条 項	美里町下水道条例 第14条		
例 規 番 号	平成18年 条例第165号		
<p>【根拠条文】</p> <p>(排除の停止又は制限)</p> <p>第14条 町長は、公共下水道への排除が次の各号のいずれかに該当するときは、排除を停止させ、又は制限することができる。</p> <p>(1) 公共下水道を損傷するおそれがあるとき。</p> <p>(2) 公共下水道の機能を阻害するおそれがあるとき。</p> <p>(3) 前2号に掲げるもののほか、町長が管理上必要と認めるとき。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p>			
備考			
設 定 年 月 日	平成25年 6月 7日	最終変更年月日	年 月 日

ID: 285

担当部署: 建設課

処分の概要	使用料の徴収		
例 規 名 根 拠 条 項	美里町下水道条例 第16条第1項		
例 規 番 号	平成18年 条例第165号		
<p>【根拠条文】</p> <p>(使用料の徴収)</p> <p>第16条 町は、公共下水道の使用について、使用者から使用料を徴収する。</p> <p>2 使用料は、毎使用月、その使用月における公共下水道の使用について、集金、納入通知書又は口座振替の方法により徴収する。ただし、町長が必要があると認めたときは、この限りでない。</p> <p>3 前2項の規定にかかわらず、町長は、土木建築に関する工事の施行に伴う排水のため公共下水道を使用する場合その他の公共下水道を一時使用する場合において必要があると認めるときは、使用料を前納させることができる。この場合において、使用料の精算及びこれに伴う追徴又は還付は、使用者から公共下水道の使用を廃止した旨の届出があったときその他町長が必要と認めたときに行う。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文及び第17条の規定による。</p> <p>(使用料の算定方法)</p> <p>第17条 使用料の額は、毎使用月において使用者が排除した汚水の量に応じ、別表に定める基本使用料と従量使用料の合計額(10円未満の端数は、切り捨てる。)とする。</p>			
備考			
設 定 年 月 日	平成25年 6月 7日	最終変更年月日	年 月 日

ID: 287

担当部署: 建設課

処分の概要	占用料の徴収		
例 規 名 根 拠 条 項	美里町下水道条例 第24条第2項		
例 規 番 号	平成18年 条例第165号		
<p>【根拠条文】</p> <p>(占用)</p> <p>第24条 公共下水道の敷地又は排水施設に物件(以下「占用物件」という。)を設け、継続して公共下水道の敷地又は排水施設を占用しようとする者は、規則で定めるところにより、次に掲げる事項を記載した申請書を提出して町長の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。ただし、占用物件の設置について法第24条第1項の許可を受けたときは、その許可をもって占用の許可とみなす。</p> <p>(1) 公共下水道の敷地又は排水施設の占用の目的</p> <p>(2) 公共下水道の敷地又は排水施設の占用の期間</p> <p>(3) 公共下水道の敷地又は排水施設の占用の場所</p> <p>(4) 占用物件の構造</p> <p>(5) 工事実施の方法</p> <p>(6) 工事の期間</p> <p>(7) 公共下水道の復旧の方法</p> <p>2 町は、前項の占用の許可を受けた者(以下「占用者」という。)から占用料を徴収する。ただし、国の行う事業に係る占用物件については、この限りでない。</p> <p>3 前項の占用料の額及び徴収については、美里町道路占用料条例(平成18年美里町条例第170号)を準用する。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p>			
備考			
設 定 年 月 日	平成25年 6月 7日	最終変更年月日	年 月 日

ID: 288

担当部署: 建設課

処分の概要	原状回復等の指示		
例 規 名 根 拠 条 項	美里町下水道条例 第25条第2項		
例 規 番 号	平成18年 条例第165号		
<p>【根拠条文】</p> <p>(原状回復)</p> <p>第25条 第24条第1項の占用の許可を受けた者は、その許可により占用物件を設けることができる期間が満了したとき、又は当該占用物件を設ける目的を廃止したときは、当該占用物件を除去し、公共下水道を原状に回復しなければならない。ただし、原状に回復することが不適当であると町長において認めたときは、この限りでない。</p> <p>2 町長は、第24条第1項の許可を受けた者に対して、前項の原状回復又は原状に回復することが不適当な場合の措置について必要な指示をすることができる。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p>			
備考			
設 定 年 月 日	平成25年 6月 7日	最終変更年月日	年 月 日

ID: 290

担当部署: 建設課

処分の概要	過料		
例 規 名 根 拠 条 項	美里町下水道条例 第29条から第31条まで		
例 規 番 号	平成18年 条例第165号		
<p>【根拠条文】</p> <p>(罰則)</p> <p>第29条 次に掲げる者は、5万円以下の過料に処する。</p> <p>(1) 第5条の規定による確認を受けないで、排水設備等の工事を実施した者</p> <p>(2) 排水設備等の新設等を行って第7条第1項の規定による届出を同項に規定する期間内に行わなかった者</p> <p>(3) 第6条の規定に違反して排水設備等の工事を実施した者</p> <p>(4) 第8条に規定する命令に違反した者</p> <p>(5) 第10条、第11条又は第12条の規定に違反した使用者</p> <p>(6) 第15条の規定による届出を怠った者</p> <p>(7) 第20条の規定による資料の提出を求められてこれを拒否し、又は怠った者</p> <p>(8) 第25条第2項の規定による指示に従わなかった者</p> <p>(9) 第5条第1項、第22条の規定による申請書又は書類、第5条第2項本文、第15条の規定による届出書、第18条第2項の規定による申告書又は第20条の規定による資料で不実の記載のあるものを提出した申請者、届出者、申告者又は資料の提出者</p> <p>第30条 詐欺その他不正な手段により使用料又は占用料の徴収を免れた者は、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額(当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。)以下の過料に処する。</p> <p>第31条 法人の代表者又は法人若しくは人の代理人、使用人その他の従業員が、その法人又は人の業務に関して前2条の違反行為をしたときは、行為者を罰するほか、その法人又は人に対しても、各本条の過料に処する。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p>			
備考			
設 定 年 月 日	平成 2 5 年	6 月	7 日
最終変更年月日		年	月 日

ID: 294

担当部署: 建設課

処分の概要	指定の停止又は取消し		
例 規 名 根 拠 条 項	美里町排水設備等指定工事業者に関する条例 第9条第1項		
例 規 番 号	平成18年 条例第166号		
<p>【根拠条文】</p> <p>(指定の停止又は取消し)</p> <p>第9条 町長は、指定業者が次の各号のいずれかに該当するときは、その指定を一定期間停止し、又は取り消すことができる。</p> <p>(1) 下水道に関する法令及び条例の規定に違反したとき。</p> <p>(2) 第2条に規定する資格要件を欠いたとき。</p> <p>(3) 前条に規定する誠実義務に違反したとき。</p> <p>(4) 第3条又は第6条第1項に規定する申請書に不実の記載のあるものを提出したとき。</p> <p>(5) 前各号に掲げるもののほか、町長が指定業者として不適格と認めたとき。</p> <p>2 前項の規定により、指定の停止又は取消しを受けた者がこれによって損失を受けても、町は、その責めを負わない。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p>			
備考			
設 定 年 月 日	平成25年 6月 7日	最終変更年月日	年 月 日

ID: 296

担当部署: 建設課

処分の概要	指定等の手数料の徴収		
例 規 名 根 拠 条 項	美里町排水設備等指定工事業者に関する条例 第14条		
例 規 番 号	平成18年 条例第166号		
<p>【根拠条文】</p> <p>(指定等の手数料)</p> <p>第14条 町は、次の各号に掲げる事務について、当該事務の申請者から、当該各号に定める額の手数料を徴収する。</p> <p>(1) 排水設備等指定工事業者の指定 1件につき10,000円</p> <p>(2) 排水設備等工事責任技術者の登録 1件につき3,000円</p> <p>(3) 排水設備等指定工事業者証及び排水設備等工事責任技術者証を再交付 1件につき1,000円</p> <p>(4) 前3号の手数料は、申請の際に徴収する。</p> <p>(5) 既納の手数料は、返還しない。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p>			
備考			
<div> <div>設 定 年 月 日</div> <div>平成25年 6月 7日</div> <div>最終変更年月日</div> <div>年 月 日</div> </div>			

ID: 297

担当部署: 建設課

処分の概要	登録の取消し		
例 規 名 根 拠 条 項	美里町排水設備等指定工事業者に関する条例 第16条第1項		
例 規 番 号	平成18年 条例第166号		
<p>【根拠条文】</p> <p>(登録の取消し)</p> <p>第16条 責任技術者が次の各号のいずれかに該当するときは、登録を取り消すことができる。</p> <p>(1) 下水道に関する法令及び条例に違反したとき。</p> <p>(2) その他責任技術者として、町長が適格でないと認めたとき。</p> <p>(3) 責任技術者が登録の抹消を申し出たとき。</p> <p>2 前項の処分による損失については、町はその責めを負わない。</p> <p>3 町長は、第1項の規定による登録を取り消したときは、本人に通知するとともに排水設備等工事責任技術者名簿から抹消し、登録証を返納させるものとする。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p>			
備考			
設 定 年 月 日	平成25年 6月 7日	最終変更年月日	年 月 日

ID: 298

担当部署: 建設課

処分の概要	負担金の徴収		
例 規 名 根 拠 条 項	美里町都市計画下水道事業受益者負担金及び分担金に関する条例 第8条第1項		
例 規 番 号	平成18年 条例第167号		
<p>【根拠条文】</p> <p>(負担金の賦課及び徴収)</p> <p>第8条 町長は、第6条の公告の日現在における当該公告のあった賦課対象区域内の土地に係る受益者ごとに、第5条の規定により負担金の額を定め、これを、賦課するものとする。</p> <p>2 前項の負担金の賦課は、第6条の公告の日の翌日から起算して3年を経過した日以後においては、することができない。</p> <p>3 町長は、第1項の規定により負担金の額を定めたときは、遅滞なく、当該負担金の額及びその納付期日等を受益者に通知しなければならない。</p> <p>4 負担金は、5年に分割して徴収するものとする。ただし、受益者が一括の納付の申出をしたとき、又は特別の事情により町長が必要と認めたときは、この限りでない。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文及び第5条の規定による。</p> <p>(受益者の負担金の額)</p> <p>第5条 受益者が負担する負担金の額は、前条の単位負担金に当該受益者が次条の公告の日現在において所有し、又は地上権等を有する土地で同条の規定により公告された区域内のものの面積を乗じて得た額とする。</p>			
備考			
設 定 年 月 日	平成 2 5 年	6 月	7 日
最終変更年月日		年	月 日

ID: 301

担当部署: 建設課

処分の概要	延滞金の徴収		
例 規 名 根 拠 条 項	美里町都市計画下水道事業受益者負担金及び分担金に関する条例 第14条		
例 規 番 号	平成18年 条例第167号		
<p>【根拠条文】</p> <p>(延滞金)</p> <p>第14条 町長は、負担金の納付について督促を受けた者からは、当該負担金の額に、納期限の翌日から納付の日までの期間の日数に応じ、年14.5パーセント(納付期日の翌日から1月を経過する日までの期日については、年7.25パーセント)の割合を乗じて得た額に相当する延滞金を徴収するものとする。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p>			
備考			
設 定 年 月 日	平成25年 6月 7日	最終変更年月日	年 月 日

ID: 302

担当部署: 建設課

処分の概要	繰上徴収		
例 規 名 根 拠 条 項	美里町都市計画下水道事業受益者負担金及び分担金に関する条例施行規則 第11条		
例 規 番 号	平成18年 規則第100号		
<p>【根拠条文】</p> <p>(繰上徴収)</p> <p>第11条 町長は、既に負担金の額の確定した受益者が次の各号のいずれかに該当するときは、納期の到来前であってもその納期限を繰り上げて負担金を徴収することができる。</p> <p>(1) 国税、地方税その他の公課の滞納によって滞納処分を受けたとき。</p> <p>(2) 強制執行を受けたとき。</p> <p>(3) 破産宣告を受けたとき。</p> <p>(4) 担保権の実行としての競売が開始されたとき。</p> <p>(5) 受益者である法人が解散したとき。</p> <p>(6) 受益者の死亡により相続人が限定承認をしたとき。</p> <p>(7) 偽りその他の不正の行為により負担金を免れようとしたとき。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p>			
備考			
設 定 年 月 日	平成25年 6月 7日	最終変更年月日	年 月 日

ID: 303

担当部署: 建設課

処分の概要	分担金の徴収		
例 規 名 根 拠 条 項	美里町公共下水道区域外流入分担金の徴収に関する条例 第6条第1項		
例 規 番 号	平成19年 条例第23号		
<p>【根拠条文】</p> <p>(分担金の賦課及び徴収)</p> <p>第6条 町長は、第4条の公告の日現在における当該公告のあった徴収区域内の土地に係る受益者ごとに、第5条の規定により分担金の額を定め、これを賦課するものとする。</p> <p>2 町長は、前項の規定により分担金の額を定めたときは、遅滞なく、当該分担金の額、その納付期限等を受益者に通知しなければならない。</p> <p>3 分担金は一括して徴収するものとする。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文、第3条及び第5条の規定による。</p> <p>(受益者)</p> <p>第3条 この条例において「受益者」とは、町長が認可区域外の区域のうち分担金を徴収する区域として定めた区域(以下「徴収区域」という。)内に存する区域外流入をする土地の所有者をいう。ただし、地上権、質権又は使用賃借若しくは賃貸借による権利(一時使用のために設定された地上権又は使用賃借若しくは賃貸借による権利を除く。以下「地上権等」という。)の目的となっている土地については、それぞれ地上権等を有する者と当該土地所有者とが協議して、当該土地に係る分担金の徴収を受ける者を定めた場合にはその者を受益者とみなすことができる。</p> <p>2 町長は、徴収区域内における土地区画整理法(昭和29年法律第119号)による土地区画整理事業の施行に係る土地について仮換地の指定が行われた場合において必要があると認めるときは、換地処分が行われたものとみなして前項の受益者を定めることができる。</p> <p>(受益者の分担金の額)</p> <p>第5条 受益者が負担する分担金の額は、美里町都市計画下水道事業受益者負担金及び分担金に関する条例(平成18年美里町条例第167号)第4条に規定する1平方メートル当たりの金額に、当該受益者が前条の公告の日現在において所有し、又は地上権等を有する土地で同条の規定により公告された区域内のものの面積を乗じて得た額とする。</p>			
備考			
設 定 年 月 日	平成25年 6月 7日	最終変更年月日	年 月 日

ID: 307

担当部署: 建設課

処分の概要	排水設備又は除害施設等の構造又は使用の方法の変更に関する改善命令		
例 規 名 根 拠 条 項	美里町農業集落排水事業条例 第10条		
例 規 番 号	平成18年 条例第168号		
<p>【根拠条文】</p> <p>(改善命令)</p> <p>第10条 町長は、排水処理施設の管理上必要があると認めるときは、排水設備又は除害施設等の構造又は使用の方法の変更を命ずることができる。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p>			
備考			
設 定 年 月 日	平成25年 6月 7日	最終変更年月日	年 月 日

ID: 308

担当部署: 建設課

処分の概要	使用料の徴収（美里町下水道条例第16条の準用）		
例 規 名 根 拠 条 項	美里町農業集落排水事業条例 第18条		
例 規 番 号	平成18年 条例第168号		
<p>【根拠条文】</p> <p>(使用料の徴収)</p> <p>第18条 使用料の徴収については、下水道条例第16条の規定を準用する。この場合において、同条中「公共下水道」とあるのは「排水処理施設」と読み替えるものとする。</p> <p>【基準】</p> <p>準用する美里町下水道条例第16条及び美里町農業集落排水事業条例第19条の規定による。</p> <p>(使用料の徴収)</p> <p>第16条 町は、公共下水道の使用について、使用者から使用料を徴収する。</p> <p>2 使用料は、毎使用月、その使用月における公共下水道の使用について、集金、納入通知書又は口座振替の方法により徴収する。ただし、町長が必要があると認めたときは、この限りでない。</p> <p>3 前2項の規定にかかわらず、町長は、土木建築に関する工事の施行に伴う排水のため公共下水道を使用する場合その他の公共下水道を一時使用する場合において必要があると認めるときは、使用料を前納させることができる。この場合において、使用料の精算及びこれに伴う追徴又は還付は、使用者から公共下水道の使用を廃止した旨の届出があったときその他町長が必要と認めたときに行う。</p> <p>(使用料の算定方法)</p> <p>第19条 使用料の額は、毎使用月において使用者が排除した汚水の量に応じ、別表第2に定める基本使用料と従量使用料の合計額(10円未満の端数は切り捨てる。)とする。</p>			
備考			
設 定 年 月 日	平成25年 6月 7日	最終変更年月日	年 月 日

ID: 311

担当部署: 建設課

処分の概要	督促手数料の徴収(美里町税外諸収入金に対する督促手数料等徴収条例第4条の準用)		
例規名 根拠条項	美里町農業集落排水事業条例 第32条第2項		
例規番号	平成18年 条例第168号		
<p>【根拠条文】</p> <p>(使用料等の督促)</p> <p>第32条 この条例及び法の規定により徴収する使用料その他の収入(以下「使用料等」という。)を納期限までに納入しない者があるときは、督促状を発行して督促する。</p> <p>2 前項の督促については、美里町税外諸収入金に対する督促手数料等徴収条例(平成18年美里町条例第60号)を準用する。</p> <p>【基準】</p> <p>準用する美里町税外諸収入金に対する督促手数料等徴収条例第4条の規定による。</p> <p>(督促手数料)</p> <p>第4条 督促状又は納付命令書を発付した場合には、督促手数料を徴収する。</p> <p>2 督促手数料は、督促状又は納付命令書1通につき100円とする。</p>			
備考			
設定年月日	平成25年 6月 7日	最終変更年月日	年 月 日

ID: 312

担当部署: 建設課

処分の概要	延滞金の徴収（美里町税外諸収入金に対する督促手数料等徴収条例第5条の準用）		
例 規 名 根 拠 条 項	美里町農業集落排水事業条例 第32条第2項		
例 規 番 号	平成18年 条例第168号		
<p>【根拠条文】</p> <p>(使用料等の督促)</p> <p>第32条 この条例及び法の規定により徴収する使用料その他の収入(以下「使用料等」という。)を納期限までに納入しない者があるときは、督促状を発行して督促する。</p> <p>2 前項の督促については、美里町税外諸収入金に対する督促手数料等徴収条例(平成18年美里町条例第60号)を準用する。</p> <p>【基準】</p> <p>準用する美里町税外諸収入金に対する督促手数料等徴収条例第5条の規定による。</p> <p>(延滞金)</p> <p>第5条 第3条第1項及び第2項の場合において納期限の翌日から納付までの期間に応じ、当該収入金額が100円以上であるときは100円(100円未満の端数があるときは切り捨てる。)について年14.6パーセントの割合を乗じて計算した延滞金を加算して徴収する。ただし、延滞金額が1,000円未満である場合においては、この限りでない。</p>			
備考			
設 定 年 月 日	平成25年 6月 7日	最終変更年月日	年 月 日

ID: 313

担当部署: 建設課

処分の概要	汚水の処理の方法の改善命令等		
例 規 名 根 拠 条 項	美里町農業集落排水事業条例 第33条		
例 規 番 号	平成18年 条例第168号		
<p>【根拠条文】</p> <p>(改善命令)</p> <p>第33条 町長は、使用者が第11条の規定に違反して汚水を排水処理施設に排除しているときは、その者に対し、期限を定めて、当該汚水の処理の方法の改善を命じ、又は当該排水処理施設への汚水の排除の停止を命ずることができる。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p>			
備考			
設 定 年 月 日	平成25年 6月 7日	最終変更年月日	年 月 日

ID: 314

担当部署: 建設課

処分の概要	過料		
例 規 名 根 拠 条 項	美里町農業集落排水事業条例 第36条から第38条まで		
例 規 番 号	平成18年 条例第168号		
<p>【根拠条文】</p> <p>(罰則)</p> <p>第36条 次に掲げる者については、5万円以下の過料に処する。</p> <p>(1) 第7条第1項又は第2項の規定による確認を受けずに排水設備の新設等を行った者</p> <p>(2) 第8条第1項の規定に違反して排水設備の新設等の工事を行った者</p> <p>(3) 排水設備の新設等を行って第9条第1項の規定による届出を同項に規定する期間内に行わなかった者</p> <p>(4) 第10条又は第11条第1項の規定に違反して汚水を排除した者</p> <p>(5) 第13条に規定する水洗便所によらないで、し尿を排除した者</p> <p>(6) 第14条の規定による届出を怠った者</p> <p>(7) 第26条の規定に基づく命令に従わなかった者</p> <p>第37条 詐欺その他の不正の手段により使用料の徴収を免れた者は、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額(当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。)以下の過料に処する。</p> <p>第38条 法人の代表者又は法人若しくは人の代理人、使用人その他の従業員が、その法人又は人の業務に関し、前2条の違反行為をしたときは、行為者を罰するほか、その法人又は人に対しても各本条の過料に処する。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p>			
備考			
設 定 年 月 日	平成25年 6月 7日	最終変更年月日	年 月 日

ID: 315

担当部署: 建設課

処分の概要	分担金の徴収		
例 規 名 根 拠 条 項	美里町農業集落排水事業分担金条例 第6条第1項		
例 規 番 号	平成18年 条例第169号		
<p>【根拠条文】</p> <p>(分担金の賦課及び徴収)</p> <p>第6条 第4条第1項に掲げる土地に係る分担金は、同条第2項の公告の日現在における当該公示のあった賦課対象区域内の土地に係る受益者ごとに、前条の規定による分担金を賦課するものとし、その納付期日等を受益者に通知しなければならない。</p> <p>2 分担金は、5年に分割して徴収するものとする。ただし、受益者が一括納付の申出をしたとき、又は特別の事情により町長が必要と認めたときは、この限りでない。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文、第4条及び第5条の規定による。</p> <p>(分担金の徴収)</p> <p>第4条 分担金は、事業区域内の土地で排水処理施設の供用開始の際、現に当該排水処理施設に汚水を排除することができる土地の所有者(当該所有者と当該土地に係る地上権者、質権者及び使用者主又は賃借人が協議して分担金の徴収を受ける者を定め、その旨を町長に届け出た場合は、その者。以下「受益者」という。)から徴収する。供用の開始後、新たに排水設備を設置し、当該排水処理施設に汚水を排除するときも同様とする。</p> <p>2 町長は、前項の分担金を徴収しようとするときは、あらかじめ事業区域のうち分担金を賦課する区域(以下「賦課対象区域」という。)を定め、年度の当初にこれを公示しなければならない。</p> <p>(分担金の額)</p> <p>第5条 受益者から徴収する分担金の額及び賦課対象区域は、別表のとおりとし、その者の土地に係る区画数を乗じて得た額とする。</p>			
備考			
設 定 年 月 日	平成25年 6月 7日	最終変更年月日	年 月 日

ID: 317

担当部署: 建設課

処分の概要	督促手数料の徴収(美里町税外諸収入金に対する督促手数料等徴収条例第4条の準用)		
例 規 名 根 拠 条 項	美里町農業集落排水事業分担金条例 第10条第2項		
例 規 番 号	平成18年 条例第169号		
<p>【根拠条文】</p> <p>(分担金の督促)</p> <p>第10条 この条例及び法の規定により徴収する分担金を納期限までに納付しない者があるときは、督促状を発行して督促する。</p> <p>2 前項の督促については、美里町税外諸収入金に対する督促手数料等徴収条例(平成18年美里町条例第60号)を準用する。</p> <p>【基準】</p> <p>準用する美里町税外諸収入金に対する督促手数料等徴収条例第4条の規定による。</p> <p>(督促手数料)</p> <p>第4条 督促状又は納付命令書を発付した場合には、督促手数料を徴収する。</p> <p>2 督促手数料は、督促状又は納付命令書1通につき100円とする。</p>			
備考			
設 定 年 月 日	平成25年 6月 7日	最終変更年月日	年 月 日

ID: 318

担当部署: 建設課

処分の概要	延滞金の徴収（美里町税外諸収入金に対する督促手数料等徴収条例第5条の準用）		
例 規 名 根 拠 条 項	美里町農業集落排水事業分担金条例 第10条第2項		
例 規 番 号	平成18年 条例第169号		
<p>【根拠条文】</p> <p>(分担金の督促)</p> <p>第10条 この条例及び法の規定により徴収する分担金を納期限までに納付しない者があるときは、督促状を発行して督促する。</p> <p>2 前項の督促については、美里町税外諸収入金に対する督促手数料等徴収条例(平成18年美里町条例第60号)を準用する。</p> <p>【基準】</p> <p>準用する美里町税外諸収入金に対する督促手数料等徴収条例第5条の規定による。</p> <p>(延滞金)</p> <p>第5条 第3条第1項及び第2項の場合において納期限の翌日から納付までの期間に応じ、当該収入金額が100円以上であるときは100円(100円未満の端数があるときは切り捨てる。)について年14.6パーセントの割合を乗じて計算した延滞金を加算して徴収する。ただし、延滞金額が1,000円未満である場合においては、この限りでない。</p>			
備考			
設 定 年 月 日	平成25年 6月 7日	最終変更年月日	年 月 日

ID: 319

担当部署: 建設課

処分の概要	繰上徴収（美里町都市計画下水道事業受益者負担金及び分担金に関する条例施行規則第11条の準用）		
例 規 名 根 拠 条 項	美里町農業集落排水事業分担金条例施行規則 第9条		
例 規 番 号	平成18年 規則第102号		
<p>【根拠条文】</p> <p>(繰上徴収)</p> <p>第9条 繰上徴収は、美里町都市計画下水道事業受益者負担金及び分担金に関する条例施行規則第11条の例による。</p> <p>【基準】</p> <p>準用する美里町都市計画下水道事業受益者負担金及び分担金に関する条例施行規則第11条の規定による。</p> <p>(繰上徴収)</p> <p>第11条 町長は、既に負担金の額の確定した受益者が次の各号のいずれかに該当するときは、納期の到来前であってもその納期限を繰り上げて負担金を徴収することができる。</p> <p>(1) 国税、地方税その他の公課の滞納によって滞納処分を受けたとき。</p> <p>(2) 強制執行を受けたとき。</p> <p>(3) 破産宣告を受けたとき。</p> <p>(4) 担保権の実行としての競売が開始されたとき。</p> <p>(5) 受益者である法人が解散したとき。</p> <p>(6) 受益者の死亡により相続人が限定承認をしたとき。</p> <p>(7) 偽りその他の不正の行為により負担金を免れようとしたとき。</p>			
備考			
設 定 年 月 日	平成25年 6月 7日	最終変更年月日	年 月 日

ID: 320

担当部署: 建設課

処分の概要	督促手数料及び延滞金の徴収		
例 規 名 根 拠 条 項	美里町道路占用料条例 第4条		
例 規 番 号	平成18年 条例第170号		
<p>【根拠条文】</p> <p>(督促手数料及び延滞金の徴収)</p> <p>第4条 道路法第73条第1項及び電線共同溝整備法第25条の規定により納付すべき負担金又は占用料の徴収において督促状を発した場合には、督促手数料として1通につき100円の手数料を徴収する。</p> <p>2 延滞金は、督促に係る道路法若しくは同法によってした処分により納付すべき負担金、電線共同溝整備法の規定による負担金又は占用料(以下これらを「負担金等」という。)の額が1,000円以上である場合に徴収するものとし、その額は、納付すべき期限の翌日から負担金等の納付の日までの日数に応じ負担金の額に10.75パーセントの割合を乗じて得た額とする。この場合において、負担金等の額の一部につき納付があったときは、その納付の日以後の期間に係る延滞金の計算の基礎となる負担金等の額は、その納付のあった負担金等の額を控除した額とする。</p> <p>3 前項の延滞金は、その額が100円未満であるときは、徴収しないものとする。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p>			
備考			
設 定 年 月 日	平成25年 6月 7日	最終変更年月日	年 月 日

ID: 321

担当部署: 建設課

処分の概要	過料		
例 規 名 根 拠 条 項	美里町道路占用料条例 第7条		
例 規 番 号	平成18年 条例第170号		
<p>【根拠条文】</p> <p>(罰則)</p> <p>第7条 偽りその他不正の手段により占用料の徴収を免れた者は、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額(当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。)以下の過料に処する。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p>			
備考			
設 定 年 月 日	平成25年 6月 7日	最終変更年月日	年 月 日